

五月 二十五日 (月)

名前

『こまを楽しむ』

文章の組み立てについて考えましょう。

① 「おわり」には、どんなことが書かれていますか。

(※こまについて書かれている文に、ちゅうもくして三つに分けましょう)

(1)	(れい) 日本には、さまざまなしゅるいのこまがあります。
(2)	それぞれの色も形も)
(3)	人々は、このつくりにくふうをくわえ、)

② 六つのこまを「回る様子を楽しむこま」と「回し方を楽しむこま」に分けましょう。

(れい)をさんごうに書きましょう。

こまの しゅるい	こまの 楽しみ方
色がわりこま	回っているときの色を楽しむ。 【(れい) 回る様子を楽しむこま】
鳴りこま	回っているときの音を楽しむ。 【】
さか立ちこま	とちゅうから回り方がかわり、その動きを楽しむ。 【】
たたきこま	たたいて回しつづけることを楽しむ。 【】
曲こま	おどろくような所で回して、楽しむ。 【】
すくり	雪の上で回して楽しむ。 【】

「分かったこと・気づいたこと」

五月 二十六日（火）

名前

『ごまを楽しむ』

「ごまを楽しむ」の中でしょうかいされている六つのごまから、遊んでみたいごまをえらびましょう。

① 本文の中の六つのごまから、遊んでみたいごまを一つえらびましょう。

また、その理由(三)つくらい(も)書きましよう。(※教科書の文をさんこうにしてあげてください。)

(えらんだごまの名前)

(理由)

「分かったこと・気づいたこと」

五月 二十七日（水）

名前

『ごまを楽しむ』

楽しく遊ぶことができるオリジナルのごまを考えましょう。

- ① 遊んでみたい「ごま」を考えましょう。
その「ごま」のとくちょうや遊び方も書きましょう。

(ごまの名前)

(ごまのとくちょう) (どんなごまなのかな?)

(ごまの遊び方) (どうやって遊ぶのかな?)

(ごまの絵)

「分かったこと・気づいたこと」

五月 二十八日（木）

名前

『全体と中心』

次の文章を読んで、話の中心を考えましょう。

【問い】・・・これから何を書くかを、読み手に問いかけるかたちで表した文のこと。

（しつ問のように「(どのような)〜でしょうか」と書いてあることが多い）

- ① 次の話の中心はどこか、考えましょう。
- ・「問い」の部分に —— 線を引きましょう。
- ・「問い」に対する「答え」の部分を書がして、 —— 線を引きましょう。

五月になりましたが、新しい学年にはなれましたか。

どんどん楽しい学校にしていきたいですね。

それでは、学校の人みんなで楽しく生活するには、どうしたらいいのでしょうか。

遊んだり、歌を歌ったりするのもいいでしょう。

でも、大切なのは、あいさつです。

あいさつは、したほうも、されたほうも気持ちよくなりますね。

まずは、毎日のあいさつからはじめましょう。

- ② この話の中心（「問い」や「答え」の部分を使う）を短くまとめて書きましょう。

（キーワードは○○○○○）

Blank box for writing the answer to question 2.

「分かったこと・気づいたこと」

五月 二十九日（金）

名前

『漢字の音と訓』

漢字の「音」と「訓」についての練習問題に取り組もう

① 次の——線の漢字の読み方を、音はカタカナ、訓はひらがなで書きましょう。分からないときは、
148 いときは、
156 ージで調べて書きましょう。

(1) 意味 | しお味 |

(2) 日曜 | 三月三日 | 日かけ

(3) 数字 | 小さな数 | 数える

(4) 遠足 | 足あとがつく | 時間が足りない

(5) 後かたづけ | 後ろを見る | 午後

(おまけ) 音と訓の両方ある漢字を使って、短い文を作りましょう。(二つくらい)

「分かったこと・気づいたこと」